

<b>◆ 主題名</b> (生徒に提示するもの)	<b>私らしく・あなたらしく</b>
-----------------------------	--------------------

内容項目	見出し	教材名
C - 11	公正・公平・社会正義	命の大切さ
価値項目		
1・2・3・4 誰に対しても、公平に接する。差別や偏見のない社会の実現に努める。		
本時のねらい		
・ 他者に目を向け、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。		

主題発問に向かうための導入・場面発問	
<b>導入</b>	発問 <b>入院の経験があるかどうか。その時、どんな気持ちだったか。</b>
	補助発問
<b>場面①</b>	発問 <b>帽子を取られて「髪があるじゃん」と言われたとき、僕はどんな思いだっただろうか</b>
	補助発問
<b>場面②</b>	発問 <b>どうして「外は厳しい」のだろう。何が分かったのだろう。</b>
	補助発問 <b>彼らに「外は厳しい」と思わせているのは、誰だろう？自分はどこにいる？</b>
<b>場面③</b>	発問 <b>K君はなぜ、いつも笑顔なのだろう。</b>
	補助発問 <b>「外が厳しい」こと、自分の病気が進行していることを知っていながらも・・・</b>

<b>◆ 主題発問</b>	<b>病気と闘い、好奇の目とも闘ったK君は、あなたに何を伝えようとするのだろう。</b>
---------------	--

<b>◆ 学び合い活動</b>	場面発問①      場面発問②      場面発問③ <b>主題発問</b>
	<b>個</b> ⇨ ( ペア ・ グループ ・ <b>フリー</b> ) ⇨ <b>個</b>

<b>留意点等</b>	「外は厳しい」の”外”何を指すのだろう……。外を構成しているのは、病気と闘っている人たちの周囲に居る私たちでもあるのではないだろうか？姿・形が少し違っただけで、好奇の目を注いだり、からかいの対象にしているのは、私たち自身ではないだろうか。また、表に出さなくても、心のどこかで無意識のうちに、そのような見方を、私たちはしているのではないだろうか。このことに気づいたとき、本当の意味での他人を思いやる態度の土台が、積み上げられていくはずである。この時間を通して、自分の中にある差別や偏見の意識に気づき、そういう自分を理解した上で、これからどのように生活していきたいかを考える時間にしたい。
-------------	--

L i n k